

# 33 芝浦工業大学

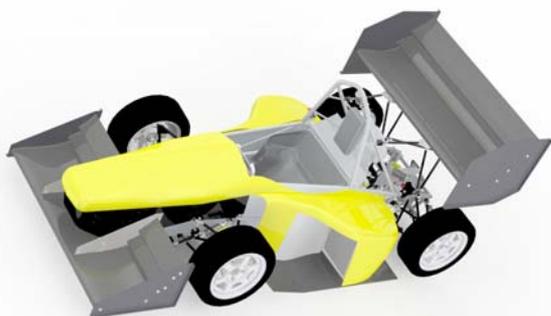
Shibaura Institute of Technology

## 3年ぶりの全種目完走 上位との壁

芝浦工業大学 Formula Racing

Shibaura Institute of Technology Formula Racing

<http://shiba4.firebird.jp/>



### Presentation プレゼンテーション

マシン名: S011

前回大会、第11回全日本学生フォーミュラ大会において、私達はエンデュランス残り3周でリタイヤ、全種目完走を逃してしまいました。あの時から、第11期プロジェクトは始まりました。大会終了後の試算ではエンデュランスを走りきれた場合総合10位。私達は第12回全日本学生フォーミュラ大会の目標を総合6位と定め、活動を行いました。

第11期開発車両S011のコンセプトは「コーナリングマシン」としました。S010で向上を果たした出力を受け止め、速く曲がれる車両をという思いが込められています。そこで前後にウイングとアンダートレイを搭載、フルエアロ化を行い、またサスペンションジオメトリーの徹底的な見直しを行いました。さらにエンジンは今まで使用していた4気筒600ccエンジンであるPC37Eから軽量化が図られたPC40Eに変更、加えて点火カットシステムの導入やペダルガイドの搭載など、ドライバビリティの向上も図っています。

5月中旬にシェイクダウンを迎え、走り出したS011は少なからず問題を抱えていました。しかしながら、走行・調整を重ねる内に改善され、大会では悲願の全種目完走を果たすことができました。目標には届かなかったものの、確実に車両ポテンシャルは向上しています。来年こそは日本大会総合6位を達成するため、開発を続けて参ります。

### Participation report 参戦レポート

今年は日本大会総合6位をめざし臨みました。開発車両S011は、問題点が残ってはいないものの大きなトラブルはなく、むしろ何が起これるのではないかと心配でした。

大会初日、まずプレゼンテーション審査と技術車検を行いました。プレゼンテーション担当者を送り出し、向かった技術車検では数箇所の指摘事項を受けてしまいました。2日目はデザイン審査、車検、そしてコスト審査と続きます。静的審査では準備不足が露呈した結果となりました。車検はスムーズとは行かないまでも、車検項目全てを通過し、3日目に備えることになります。

3日目はいよいよ動的審査が始まります。当日は太陽が顔を出さず、路面温度はまったく上がりませんでした。S011にとってこのようなコンディションでの走行は初めてでした。準備不足が心配されたアクセルレーションは17位、スキッドパッドは5位。午後のオートクロスはセッティングが合わず15位。エンデュランスAグループには滑り込めたものの、車両に問題を抱える形となりました。

4日目はプラクティスをこなし、5日目はエンデュランス。確実に完走をめざしました。冷却に問題を抱えるS011でしたが、なんとか走りきることができました。エンデュランスは9位。燃費は15位。そして総合10位。3年ぶりに全種目完走を果たすことができたものの、目標であった総合6位には及ばないことを痛感させられた日本大会でした。

最後になりますが、日々の活動を支えてくださっているスポンサーの皆様、大学関係者の皆様、誠にありがとうございました。



### 今回の総合結果・部門賞

●総合10位 ●日本自動車工業会会長賞

### Profile チーム紹介・今までの活動

芝浦工業大学FormulaRacingは11年目を迎えました。日本大会は第2回大会から参戦し、過去にはアメリカ、イギリス、タイの大会に参戦しました。今年は学部1年生から院2年生まで合計29名が活動しております。今年度は日本大会総合6位を目標に活動しました。

### Team-member チームメンバー

#### 大澤 悠太 (CP)

斎藤 寛泰 (FA)、林 寛之、小久保 陽平、高見 祐貴、土屋 聡、清水 祐汰、野口 誠之、吉野 暁大、石川 泰、及川 雄也、大石 遊、小林 京介、佐藤 祐也、富樹 貴大、堀江 健太、山内 瑛、渡邊 睦士、大河原 悠介、金澤 瑞樹、野上 達大、吉田 匠吾、石岡 司、井上 翔太、櫻本 雄仁、黒木 雅也、鈴木 佑奈、高山 篤士、松本 賢、山口 溪

### Sponsors スポンサーリスト

アールエーシー、RSコンポーネンツ、アールケー・ジャパン、アスベクト、American Honda Motors、アルバック機工、アローレーシングサービス、ウメオカ、エッチ・ケー・エス、エヌ・エム、ビー販売、NOK、エヌケーエヌ、NTN、遠藤木型、大屋技術伝承塾、関東工業自動車学校、キャロッセ、協永産業、協和工業、黒坂鍍金工業所、ケーヒン、小林機工、小原歯車工業、三晃製作所、ジュニアモーターパーク クイック羽生、住友電装、ソフトウェアクレイドル、大模精機、太陽ステンレスプリング、タジマモーターコーポレーション、津留崎製作所、TeXtreme、デンソー、東京アールアンドデー、東洋測器、所沢軽合金、日新鋼管、日信工業、ニフコ、日本発条、ハイレックスコーポレーション、ファクトリー-I.T.O、フィアローコーポレーション、深井製作所、フューチャーテクノロジー、プラスミュー、本田技研工業、本田技術研究所、ミスミ、水戸工業、ミルインターナショナル、UDトラックス、ユタカ技研、横河工事、レイズ、ワークスベル、和光ケミカル

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/33.html>